

第4回茅ヶ崎市高齢者福祉計画

・介護保険事業計画推進委員会会議録

議題	(議題) 1 第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の評価について(報告) 2 第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の評価方法について(意見聴取) 3 地域包括支援センターの事業評価について(報告) 4 地域密着型サービスの指定更新(指定廃止)について(意見聴取) 5 その他
日時	平成28年1月15日(金)午後2時00分～午後4時00分
場所	総合体育館会議室
出席者氏名	加納 洋子 木村 辰郎 三上 秀明 西 耕一 篠原 徳守 青木 三郎 齋藤 直樹 大崎 逸朗 柏崎 周一 武見 正利 福岡 祐子 米山 康之 水島 修一 橋本 久美子 事務局：保健福祉部長 高齢福祉介護課長 介護保険担当課長 高齢福祉介護課職員
欠席者氏名	寺田 洋
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0人

(会議の概要)

議題1 第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の評価について(報告)

(資料1-1、1-2)

説明【高齢福祉介護課：都筑主任】

委員長 説明は以上になるが、今後の事業への展望等、確認したい点等はあるか。

木村委員 進行管理シートについて、9ページの「17 公民館まつり等の開催」等、目標に対する実績が低くなっている事業がかなりあるが、具体的な原因は何か。

事務局 この事業については、公民館で行っている事業であり、結果的に目標値に対する実績値は若干低い、このような機会を創出しているということで、A 評価となっている。

木村委員 これだけでは実績の評価が A であることが理解しづらい。

委員長 このような行政の評価としては、概ね 8 割を満たしていれば A 評価としている。中には C 評価、D 評価となっているものもあり、こちらについて議論をする方が深い議論ができると考える。

柏崎委員 目標の設定はとても難しい。数字を低く設定すれば目標を達成することができるが、やる気を出して目標値を高く設定すれば達成しないかもしれない。あくまでも目標なので、8 割に達していればよしとするのがよいのではないかな。

木村委員 了解した。続いて、進行管理シート 56 ページの「98 茅ヶ崎駅北口周辺道路整備事業」について、総合評価の「今後」の欄に実施年度は未定とあるが、いつ頃までにできる予定なのか。

事務局 この事業については、24 年度に茅ヶ崎市総合計画の第 2 次実施計画が策定され、その中で C ランクに位置付けられた事業である。C ランクというのは、25、26、27 年度については実施を見送る事業となることから、24 年度は事業を実施し、A 評価となっているが、25、26 年度については見送られていることから、未実施となっている。ただ、このバリアフリー化については、道路だけでなく建物等に対しても重要な施策と認識しているので、各課の事業に対して今後も対応をお願いしていきたいと考えている。

事務局 ただ今、前回の計画である第 5 期計画の振り返りとして議論していただいているが、第 6 期計画の中に「バリアフリー基本構想策定」という事業が位置付けられおり、中長期的に進めていく予定である。その進捗についても今後皆様にお知らせしていきたい。

篠原委員 進行管理シート 72 ページの「121 災害時要援護者支援制度の周知」について、現在 2,844 名が登録されているとのことだが、この制度のスタート時点では一人暮らしの高齢者を対象として登録してもらっていたが、元気な高齢者も増えている中、今後は要介護 3 以上である等、対象者を絞って重点的に行うのはいかがかな。

事務局 平成 25 年に災害対策基本法が改正になり、災害時要援護者支援制度の枠組みが変わる。阪神淡路大震災や東日本大震災の教訓を踏まえてこれまでの方針を国が改めたもので、本市でも地域防災計画を修正したのち、本年 11 月頃までには示すことができるようにしたい。本当に支援が必要な方に絞り込んで再度洗い出しをする方向で考えているが、詳細が決まったらまたお知らせする。

齋藤委員 進行管理シート36ページの「67 緊急通報装置貸与事業」について、利用者が減少傾向にある。とても大切な事業だと思っているが、NTT回線しか使えないという制約がある。しかし世の中ではNTT回線はどんどん減っており、光回線や携帯電話、スマートフォンなどが使われている中で、従来の電話回線のみを頼っている状態でよいのか。24年度の「今後」欄に「代替となるサービスの研究を進めていく」と記載されているが、どの程度進んでいるのか。新しくスマートフォンのアプリを開発し、広く使ってもらえるような方法を考える等、知恵を出していただきたい。また、目標に対する実績値が80%未満だがA評価となっていることについてはどうということか。

事務局 今後、この事業についてはアナログ回線以外の手法も含めていろいろ検討していきたい。

齋藤委員 視覚障害者の方もいるので、そのような方でも使えるシステムも考えていただきたい。

事務局 目標に対する実績値が80%未満だがA評価となっていることについては、数値としては80%には達していないが、申込み数といったような市だけでは対応ができない部分等も加味したうえでA評価としている。

武見委員 進行管理シート74ページの「123 地域におけるネットワークづくりの支援」について、24年度はA評価、25、26年度はC評価となっている。26年度の目標値は12となっており、自治会数は130以上あるはずだが、この数値は少ないのではないか。行政としてどのような支援を行っているのか。先細りしていくようで心配である。大変熱心に行っている自治会もあるが、中にはこのような体制作りができていない自治会もあるようである。

事務局 12という目標値については、12地区ということでの目標であり、単位自治会の数ではない。ご指摘のとおり、地域によって取り組みに差があるが、実際は十数自治会で取り組みが行われていることを確認している。防災に関することについては各地域で行っていただいております、少しずつ定着してきていると思う。今後、それぞれの自治会に対して災害時要援護者支援制度に関するアンケート調査をさせていただく予定である。

柏崎委員 この議題の資料は膨大な量であるが、広範囲にわたってきめ細かくいろいろな施策が行われている印象を受けた。ただ、先ほども話が出たが、目標値に対する実績値が80%未満でもA評価となっている事業がいくつか見られるが、80%未満でもA評価とすることがある旨を評価の基準に入れたほうがよいのではないか。また、評価がまだ出ていない事業が数か所あるが、実績をきちんと出していただきたい。

事務局 進行管理シート2ページの「3 市民参加促進・啓発事業」については担当課に

確認した際にはまだ数値が把握できていないとのことであったが、再度担当課に確認する。

柏崎委員 26年度の結果が28年になってもまだ出ないというのは遅いので、よろしくお願ひしたい。また、計画書には記載があるが、この資料に評価が記載されていない事業が何か所がある。例えば、進行管理シート95ページの「地域密着型（介護予防）サービスの整備」の小規模多機能型居宅介護は、第1生活圏域と第2生活圏域については評価の記載があるが、第3生活圏域は評価の記載がない。これはどういうことか。

事務局 第5期計画書の137ページに整備目標の表が記載されているが、前の年度に比べて数が増えているものについては、増えた分を新規に整備する、ということである。小規模多機能型居宅介護の第3生活圏域については、前年度より数が増えておらず、追加の整備を予定していないので、事業の評価を掲載していない。

柏崎委員 それならば、その旨を結果に掲載するべきではないか。

委員長 今回の評価結果はもう出来上がってしまったので、第6期の評価の報告の際には考慮していただきたい。

柏崎委員 目標値に対して倍くらいの実績があるものもある。このような事業は、目標値を増やすことも考えてもよいのではないか。

事務局 今後そのような結果が出ているものについては、庁内連絡調整会議の中で、推進委員会でこのような意見があった旨を報告し、上方修正するか検討したい。

篠原委員 進行管理シート83ページの「139 地域福祉活動支援事業」について、サロンを開設したくても場所の確保がなかなかできない。茅ヶ崎市でも空き家がたくさんあるが、それらを活用することができれば、新規にサロンを開設できるのではないか。

委員長 第6期計画を進行する上で参考にしていただければと思う。

事務局 都市部の都市政策課で空き家関係の対策をとっている。空き家の利用方法や耐震性など、考えなくてはいけない問題点もあると聞いているが、都市政策課と連絡を密にし、情報が入れば提供していきたい。

委員長 他に意見等がなければ次の議題に移りたい。

議題2 第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の評価方法について（意見聴取） （資料2）

説明【高齢福祉介護課：青木主任】

委員長 説明は以上になるが、ご意見等はあるか。

木村委員 事業の評点についてであるが、事業の評点を上げるための対応策はどのように考えているか。

事務局 計画の３年間の方向性については、計画書の中に事業内容や目標として示してあるので、３年間そこを目指していくことになる。

委員長 それでは第６期計画の評価方法については、この評価方法を使用するということでよいか。

柏崎委員 目標値に対する実績値が８０％未満でもＡ評価になることがあるので、それも含めて評価を考えたほうがよいのでは。

事務局 その部分については評価指標に加筆し、Ａ評価の幅を広げた形で評価ができるように修正する。

武見委員 用語の意味について確認したい。資料２ページの中ほどの図にある「事業実施課かい」の「かい」とはどのような意味なのか。

事務局 行政用語になるのかと思うが、通常の課の他、出先機関を「かい」といい、それらをすべて含めて「課かい」としているが、わかりづらく、申し訳ない。

委員長 その他に意見はあるか。

事務局 この計画はさまざまな課が関わってできているものであるが、市民向けに公表することを考えると、もう少し事業の進ちよくがわかりやすい記述にする等、工夫が必要だと感じたので、次回評価を行う際には考慮したい。

委員長 それでは第６期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の評価方法については、修正も含めて、事務局の説明のとおりとしてよいか。

(異議なし)

委員長 それでは議題３に移る。

議題３ 地域包括支援センターの事業評価について（報告）

(資料３－１、３－２、３－３、３－４)

説明【高齢福祉介護課：三宮主査】

委員長 説明は以上になるが、質問、意見はあるか。

木村委員 資料３－２について、介護支援専門員がいない包括支援センターがあるのはなぜか。

事務局 主任ケアマネージャーが介護支援専門員でもあるので、兼ねている場合もある。

委員長 資料３－３の評価指標シートについて意見はあるか。

副委員長 それぞれの地域包括支援センターが、資料３－２の事業計画の中で今年度の重点的な取組方針、独自に取組む事業を示しているが、この評価指標シートについても評価を行うのか。

事務局 総合評価の中で評価をしていく。

副委員長 この評価指標シートの項目は基本的な事項となっているが、各センターが積極的に取り組んでいる事業について、どのように評価するのか。

事務局 事業計画の中で一つの項目として独自計画を立てている。その計画についてはしっかり評価していきたい。また、事業計画書の文字だけで判断するのではなく、年度終わりにヒアリングを行い、それも含めて判断していきたい。

副委員長 評価指標シートの裏面に文字で記載する欄があるのでそこに記述式で記載することができるのかと思うが、一生懸命取り組んだところはそれなりの評価をできるような形にしていきたい。

委員長 資料３－３の評価指標シートは、資料３－１の表面左側に記載のある基本的な項目の評価となるかと思うが、そこに更に独自の事業についても何らかの評価をするということか。

事務局 そのとおりである。

委員長 包括支援センターの事業評価は平成２７年度分が初めてなのか。

事務局 そのとおりである。

委員長 それでは、今年度はこのとおり行ってみて、来年度は修正を加えて行う、ということでしょうか。

柏崎委員 資料３－４の事業評価システムの運用スケジュールについて、各地域包括支援

センターからの事業計画の提出が５月になっている。４月から事業が始まるのであるから、本来なら事業が始まる前に提出させるべきではないか。また、翌年度に行う運営状況評価については７月となっているが、もっと早めに行う方がよいのではないか。

事務局 ご指摘のとおりである。ただ、それぞれの法人等で、年度の集計や実績報告などを踏まえた中で次期事業計画を立て、理事会の承認を経て提出しなければならない等の都合があるようだが、評価も含めなるべく早く提出していただくようお願いする。

柏崎委員 概略の計画でもよいので出していただく方がよいのでは。また、評価については７月中旬までかかるとなっているが、この評価結果に基づいて事業計画の変更が検討されることもあると思うので、もう少し前倒して行うことはできないのか。

委員長 事業計画については検討していただくこととするが、評価については様々な手続きを考えるとこのくらいの時期になってしまうのが通例ではないか。

米山委員 資料３－２の職員数の表について、「非常勤、兼務を含む」との記載はあるが、この表だけではわからないので、どの部分に非常勤、兼務が含まれているのかわかるような記載が必要ではないか。また、専門職種を集めるのは大変だと思うが、きちんと足りているのか。どのように確認しているのか。

事務局 専門職種の確認については、届出書という形で提出していただいている。さらに基準を満たしているかということについても、届出書で確認できている。さらに、更新時や実地指導時にも確認している。また、先ほど資料３－２の表に関してご意見がありましたとおり、もっとわかりやすく記載するようにしたい。

委員長 それでは次の議題に移る。

議題４ 地域密着型サービスの指定更新（指定廃止）について（意見聴取） **（資料４－１、４－２）**

説明【高齢福祉介護課：田渕主幹】

委員長 説明は以上になるが、意見や質問はあるか。

（意見なし）

議題５ その他

委員長 事務局から何かあるか。

事務局 次回の日程について、前回お知らせした日程が変更となった。次回は３月２３日

水曜日の午後２時からの開催を予定している。

委員長 それでは平成２７年度第４回茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会を閉会する。

委員長署名 大崎 逸朗

委員署名 木村 辰郎